

国立市議会議員\*一人会派《こぶしの木》

# 上村和子市議会レポート

## こぶしの木 No.53

発行：上村和子事務所 〒186-0002 東京都国立市東3-11-12/八口一国立103  
tel & fax：042-580-2780 e-mail：kobusinoki.uemura@nifty.com  
ホームページ：http://homepage2.nifty.com/uemura\_kazuko/



**上村和子と市政を語る云**  
8月26日(日)午後1時半  
くにたち福祉会館・講座室(3階)  
9月3日から9月議会が始まります。  
皆さまのご意見をお寄せください。

### 佐藤市長は自ら語った学童保育へのビジョンを施策に活かし、子どもたちの利益を保障する学童保育を！ 説明会もない大幅値上げ 26市中第2位に反対！

#### 基本育成料を大幅値上げ

過去19年間、国立市の学童保育は、基本育成料3000円、おやつ代2000円の計5000円(三多摩平均5795円)でした。

ところが今回、保護者から要望の高かった夏休み等の長期休暇の間、開始時間を30分早めて8時からにすること、午後7時までの延長保育を導入することと併せて、基本育成料が値上げされました。延長部分については、ほぼ100%保護者負担で賄うということですから、基本育成料には触らなくてよかったです。

しかし、市の答弁は、「他市と比べて安い。保護者負担を2割まで引き上げ(現在は約1割)、市の負担を8割とする。それが負担の公平であり、社会的にも妥当。右肩下がりの中で安定的にサービスを維持するために、学童連協との話し合いの中で提案のあった所得段階制をとった値上げにした」というものでした。

#### 保護者への説明なし

多摩26市中第2位にもなる値上げにもかかわらず、保護者への説明会

はいまだに開かれていません。値上げの前に市は責任をもって直接説明すべきです。

#### 佐藤市長の答弁は立派だったが…

今回の値上げについて、佐藤市長は、「学童保育の特徴は、1年生から3年生まで同じ部屋にいて、特別支援学校等に通っている子どもたちと同じ部屋で生活する。学校のクラスでは体験できない交流ができ、社会経験もできると強く期待する。学童保育は非常に大切な場である。第

### 一歩ずつ進んでいます！

#### 女性相談スーパーバイザー導入実現

かねてから私が提案していた女性問題相談職員に対し助言を行うスーパーバイザーが導入されます。相談することで問題の整理ができ、抱えこまなくなり、進む方向を知る体験は相談員にこそ必要です。

8月にスーパーバイザーをまじえての1回目の会合を開き、DV等の相談に直接係る職員の窓口対応や庁

6月議会

2次国立市子ども総合計画の中の基本理念である子どもの権利条約、子どもの最善の利益を使命と考え、値上げによる収入増(800万円)は子どもへのサービスとして返還したい」と述べました。

#### 楽しいと思える学童保育を公的責任で

市長の答弁は立派ですが、本気なら、学童保育の審議会を立ち上げ、保護者も入れて学童保育指針を作るべきと考えます。

#### 「誰でもトイレ」を車椅子優先に

最近至る所にある俗称「誰でもトイレ」は、「誰でもトイレ」になったことで車椅子の人たちが使えなかったという問題が新聞で報道されました。新しくできる国立駅の「誰でもトイレ」については、国立市しようがいしや団体等連絡協議会(国しよう協)とJRとが話し合いを重ね、車椅子マークを大きく表示した車椅子優先の標示にすることが決まりました【写真】。



また、当初、赤ちゃんのおむつを替えるためのベッドを「誰でもトイレ」に置く予定でしたが、国しよう協の意見をもちに、男女それぞれのトイレに置くことになりました。しようがいしやが当たり前前に使えてこそ「誰もが使える」というようモデルとなりました。

#### 「しようがいしやがあたりまえに暮らすまち宣言」の条例化を

条例化の検討は、現在進行中のしようがいしや福祉計画での議論にゆだねるのことで、しっかり見守りたいと思います。

# 6月議会・一般質問から

## ◆日光移動教室

### 市教委は日光移動教室の行き先の変更を 求める保護者たちと継続的協議を

原発事故の被災地は福島にとどまらず、東北・北関東と広域にわたっています。しかも未来に向けて深刻な影響を及ぼし続ける進行形の公害です。国立でも毎日放射能量を測定しています。

その中で、3月議会に保護者有志から提出された日光移動教室に関する陳情は、あたりまえで大切にすべきものでしたが、残念ながら1票差で否決されました。

また、PTAで放射能の問題を口に出せないという声をよく耳にするようになりました。

原発事故がもたらした被害とその原因の究明、そして、二度と繰り返さないためにやらなければならぬことは何なのか。決してタブーにしてはいけないと考え、市教委に保護者との継続的協議をするよう6月

議会にて提案しました。

一般質問をするに先立って、実際に日光に行き、移動教室と同じ



行程を回り、日光の自然を守り、また、放射能問題に取り組んでいる人たちにお話を伺いました。日光駅、日光東照宮は0.165〜0.2マイクローシールベルト、奥日光は0.09マイクローシールベルトでした【写真は中禅寺湖での放射能測定】。

その後、保護者と市教委の円卓会議が7月に開かれ、移動教室だけではなく、今後も給食等も含めて話していくことになったと聞き、未来への一粒の種がまかれたと思いました。

### 公民館は、誰でも、いつでも、自由に学び、 出合える場として守っていききたい

## ◆公民館見直し問題

3月議会の一部の議員から、公民館の公運審の人数や回数についての疑問が出されたことを受け、是松教育長は教育委員会で見直すと言いました。

6月議会でもこのことを取り上げ

質問しました。教育長の答弁は、「有料化や民営化は俎上にのせない、公運審についても回数を減らしたい」と

は言っていない、ただ、月に1回、年12回の回数、館長人事がある年に限り臨時でもう1回増えていること

については、公運審が審議すべき内容かどうかをしっかりと議論したい、人数については他市も調査し、適正な人数について少し議論したい」というものでした。

どうやら、教育長は館長人事について公運審の意見を聞くことをやめ、人数についてもできれば減らしたいように思えます。

## ◆平和問題

### いいかげんな決裁で 非核宣言自治体協議会を退会

国立市は2010年に平和都市宣言の10周年を記念して非核宣言自治体協議会に加入しました。年会費は6万円、北海道から沖縄まで約260の自治体が加入しています。

長崎生まれの私は肌感覚で8月9日の悲しみを覚えており、国立市の加入に喜び、2010年度に早速視察。親子ピース記者や写真展など幅広い活動を知り、国立市でも取り組みめなにか提案してきました。しかし、佐藤市長に変わった今年度、退会してしまいました。

今回、一般質問を行うにあたって、退会の決裁文書を調査し、驚くべき事実がわかりました。

決裁文書は2012年3月15日に起草され、「事務局が長崎にあり、総会や研修会などの諸活動も関東以西で行われており、別途費用がかかるため参加が難しく、今後参加継続する事業効果は少ない」との退会理由が記されていました。しかし、今年

ありません。地震の問題、孤立死の問題、貧困の問題、自殺の問題など、あふれるほどの社会不安の中で、公民館は国立市民の財産として貴重であり、守るべきものと考えます。

6月の教育委員会の中で嵐山委員が「1回多いとか、人数が多いとか、教育委員会が話す意味を感じない」旨の発言があり、本当にそのとおりだと思いました。

の研修会は2月8日に神奈川県相模

## 6月議会・質疑討論から

### ※1 小学校エアコン設置工事

国立市の小中学校のエアコンはすべてガスエアコンです。節電対策でもあります。

国立市役所は東電以外の民間の事業者からも電気を買い、東電に対しては原発事故後の計画停電に要した費用の返還を求める訴訟を起こしています。

今後、食べ物の放射能を調べる機器の導入や、公園や校庭の土壌調査等、原発事故の影響への対応は続きます。東電に対する責任追及も含めて、東電の電気に頼らないエネルギー施策を積極的に行ってほしいと思います。

### ※2 手数料条例・印鑑条例

原市で開かれています。そのことを指摘すると、決裁にはんこを押した市長、副市長、部長は、研修会が相模原市で開かれていたことを全く知りませんでした。

質問後、再度庁内で話し合ったのですが、たとえ派遣可能な地域で開催されていたとしても、事業効果は少ないので退会の意思に変更なしと確認したと聞き、さらにあきれました。

認識違いの決裁をあげたこと反省もせず、非核宣言自治体協議会の意義の深さが市としてわからないことそのものに危うさを覚えます。

どちらも外国人登録法が廃止され、入管法で一元管理することに合わせた法整備のための条例案です。今後は外国籍市民も住民基本台帳の対象となります。また、すべての対象者に在留カード(SDカード)が配られ、住所、仕事等が記録されます。

特別永住者には常時携帯の義務はなくなるという利点もありますが、主眼が一元管理ですので、管理が強化されます。引越しの報告やカード更新の時期を忘れると罰金が課せられます。

法で厳しく管理するのなら、相応の丁寧な情報提供が必要です。たださえ日本には外国籍住民の人權・教育を保障する法律はありません。管理だけの片落ちの法律に従った自

6月議会の主な議案と上村和子の賛否

番号	件名	議決結果	上村賛否
第35号議案	国立第三、第七小学校エアコン設置工事請負契約について	原案可決	○ ※1
第36号議案	国立第一、第五、第六小学校エアコン設置工事請負契約について	原案可決	
第37号議案	国立第二、第四、第八小学校エアコン設置工事請負契約について	原案可決	
第38号議案	国立市印鑑条例の一部を改正する条例案	原案可決	× ※2
第39号議案	国立市手数料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決	× ※1 1頁参照
第40号議案	国立市学童保育所条例の一部を改正する条例案	原案可決	
第41号議案	国立市保育費用徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決	○
第42号議案	平成24年度国立市一般会計補正予算(第1号)案	原案可決	退席
陳情第10号	北朝鮮に対する経済制裁の強化を求める意見書の提出に関する陳情	採 択	× ※3
陳情第11号	拉致事件の早期解決を求める意見書及び要請文の提出に関する陳情	採 択	

治体の条例の改正は認められず、反対しました。  
現在、国立には約1500人の外国籍住民がいます。丁寧な説明をするよう強く求めました。

※3 「北朝鮮」に対する経済制裁を強化せよ、拉致問題の早期解決のために経済制裁を強めよ、という内容の陳情でしたが、私は2つともに反対しました。もう十分に経済制裁は行っ

ていることと、兵糧攻めは人道的立場から絶対行つてはいけないと考えたからです。外交の問題としてしっかりと協議することなしに拉致問題の根本解決はないと考えます。

また、「北朝鮮」というのは国名ではありません。こういった略称を相手国への要請文に使うのは適切と言えませぬ。「朝鮮民主主義人民共和国」という相手国が表明する正式な国名を使うべきではないかと意見しました。

国立市財政改革審議会が、8月下旬に、各種手数料の値上げなどを提案した市民生活にとつて厳しい内容の中間答申を出す見込みです。審議会を傍聴してこられた経済専門家の山家悠紀夫さん(暮らして経済研究室主宰、市内在住)にお話をうかがいました。

上村 審議会を傍聴されたの感想はいかがですか？

山家 7月中旬までに6回開かれた審議会のうち3回しか傍聴できなかったんですが、市の思惑通りに運営されている、という印象を受けました。

国立市財政改革審議会

ひたすら市の考えを代弁した答申に

市民の意見は全く無視

決めた、ということですが、これには驚きました。傍聴者にも意見書は配布されませんでした。仕方がないので、資料請求して取り寄せてみました。6月末開催の第5回までに3通の意見書が出されているのですが、いずれも傾聴に値する意見が述べられていました。その意見を無視するのはもったいない話です。

上村 市民の声を反映した答申は出ないわけですね。

とところが、困ったことに、多くの委員さん方が、自分たちは市民の代表だと勘違いされているようなのです。審議会の答申は議会でも尊重してもらわなければならないなどという発言もありました。ご自分たちは、市民に選ばれた委員ではない、単に市に選ばれた委員にしか過ぎない、しかも、市民の意見などは全く聞いていない、ということが分かっているらしいですね。

や給与水準、福祉施策、各種手数料などを類似団体の平均水準に合わせるべきだ、という考えが支配的なことです。類似団体の水準は、参考にすべき1つの目安ではありますが、あくまで参考にしかすぎません。類似団体の水準に合わせるのであれば、なにも審議会などいらない、職員が1日もかけずに計算できます。審議会では、理想的な議員数、職員数や給与水準、福祉施策、各種手数料などはどうあるべきか、そうした本質的な議論が本来はなされるべきだと思います。しかし、それは全くといっていいほどなされていません。

象徴的なのが、市民から出された意見書の取り扱いです。本来なら、意見書を1つの議題として取り上げて、その意見をどう受け止めるか、委員間で議論すべきだと思うのですが、委員に意見書を配布することすらしていません。ファイルに綴じて、市の説明がなされていたり、誰かが意見を言ったりしている中で、回覧させているのです。これでは委員は意見書を読めません。意見書は全く無視、市民の意見には耳を貸さないということ。事務局が会長と相談のうえでこうすると

山家 そうです。市民の意見を聞く会も全く開いていません。審議会がしたことと言えば、市の説明を聞いて、質問をし、自分たちの感想めいたものを述べた、それだけ。これでは、答申が、市の考えをそのまま反映した、いわば、担当部局が簡単にしてくれる答申を素人集団が手間暇かけてつくった答申、市民の声とは全く無縁の答申、となるであろうことは容易に予想がつき

上村 議論されている内容についてはどうでしょう。

山家 考え方で気になる点がある、今の段階で2つあります。1つは、しきりに類似団体(人口、産業構造が似通った市)並み、という発言がなされ、国立市の議員数、職員数

上村 困ったものですね。答申は、議会で、市民の立場に立って、しっかりとチェックするようにしましょう。

あと1つは、「このままでは夕張になる」という議論が大まじめになされていることです。首都圏という恵まれた地域にある国立、とくに放漫な財政運営をしているわけでもない国立が夕張になる時には、全国の都市の半数以上は夕張になっているでしょう。そんなことは起こり得ないということが、委員さん方にはお分かりになっていないよう



国立の町づくりを考える会が企画、主催した市民まつり“大学通りで遊ぼう”(1974年11月4日)

1969年に突然起こった大学の歩道橋建設の話は、車の交通量も通行人も少ない中でなぜ必要なのかという本質的な議論の前に、歩道橋は子どものいのちを守る善政であるとしてアピールされ、三小PTAの母親たちの反対運動も促進派と確認書を取り交わして終わりました。

### 税金を3倍も上積みして建設強行!

1970年に入り、都は、予算700万円の階段式歩道橋を1900万円のスロープ式歩道橋に計画変更し、着工を強行しました。その動きに納得できない井上スズさんたちは、「国立の町づくりを考える会」を発足させ、都知事に要請書等を提出しましたが、都は答えませんでした。

## 井上スズさんに聞く ③

# 町の主権者はそこに住む住民。環境を守るため、誰にも訴える権利がある!

## 「国立の町づくりを考える会」が目指したもの

その中で町づくりを考える会は、大学通りは中央線国立駅と南武線谷保駅をつなぐための特徴的

その姿をさらしています。もう一つの行政の「口」

原発も歩道橋も構図は同じ

な道路で貫通道路ではないから歩道橋は必要ではないとの主張や、南部の水田地帯を流通センター化する構想に反対する運動も展開しました。

### 歩道橋は行政のエゴ的政策

三小に通う児童のためと建設費を3倍も増額した歩道橋でしたが、その後市教委は学区を変更し、歩道橋を渡る児童は皆無となりました。

市民の反対の声を無視して行政のエゴをむき出し強行した歩道橋、無用の長物の典型として今も

### 大学通りを公園道路に

また、町づくりを考える会は、大学通りを公園道路にする請願を市に提出しました。これは、車を規制し、緑地を広げ、高い建物を禁止し、青空が広がる道路を活かす、公園と住宅がとけ合っているという理想の町づくりの提案でした。お話しをうかがって、これはいまだに新鮮なデザインであり、今こそ、国立駅周辺のまちづくり

また、町づくりを考える会は、大学通りを公園道路にする請願を市に提出しました。これは、車を規制し、緑地を広げ、高い建物を禁止し、青空が広がる道路を活かす、公園と住宅がとけ合っているという理想の町づくりの提案でした。お話しをうかがって、これはいまだに新鮮なデザインであり、今こそ、国立駅周辺のまちづくり

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

また、原発事故により、多くの人々がよく、原発がクリーンなエネルギーではなく、すべてのいのちを破壊する核の脅威となつていくことに気がつきました。国策として促進されたのは歩道橋も原発も同じ構図です。その構図を見抜き、行動することの大切さをスズさんや町づくりを考える会に学ばなければと考えます。

## くにたちの町の問題を考える会学習会 ◆問い合わせ090-1814-8371(上村)

### 財政改革 ここまでやるか!

### どうなる!? 国立駅周辺まちづくり

- ◆日時 9月1日(土) 午後1時30分
- ◆場所 国立市公民館・集会所(3階)
- ◆日時 8月30日(木) 夜7時~9時
- ◆場所 くにたち福祉会館・小会議室(3階)

市の出前講座である「わくわく塾」を利用して、市の担当者から国立駅南口広場のデザインや高架下の活用等について最新情報を聞き、話します。

## 加害者としての戦争を語る会

### 沖縄から加害を考える

- ◆日時 9月16日(日) 午後2時~(開場1時半)
- ◆場所 国立市公民館講座室(3階)
- ◆お話 林博史さん(関東学院大学教授)
- ◆主催 連絡先 加害者としての戦争を語る会(580-12780)